

評価結果概要表

作成日 平成 21 年 8 月 13 日

【評価実施概要】

事業所番号	秋田県知事指定第 0572612877号
法人名	株式会社 大曲仙北介護支援事業所
事業所名	グループホーム桐花荘
所在地	仙北市田沢湖小松字荒床33-1 (電話) 0187-44-3037
評価機関名	社会福祉法人 秋田県社会福祉協議会
所在地	秋田市旭北栄町1-5
訪問調査日	平成21年7月16日

【情報提供票より】 (平成21年6月22日 事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 9 月 1 日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	8 人 (常勤 7 人 非常勤 1 人 常勤換算 7 人)

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り
	2 階建ての ~ 1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	20,010 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	<input type="checkbox"/> 有(円) <input checked="" type="checkbox"/> 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	<input type="checkbox"/> 有(円) <input checked="" type="checkbox"/> 無	有りの場合 償却の有無	<input type="checkbox"/> 有 / <input type="checkbox"/> 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,050 円		

(4) 利用者の概要

利用者人数	9 名	男性 2 名	女性 7 名
要介護 1	1 名	要介護 2	4 名
要介護 3	2 名	要介護 4	2 名
要介護 5	0 名	要支援 2	0 名
年齢	平均 85 歳	最低 72 歳	最高 91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	市立角館総合病院・市立田沢湖病院・神代診療所 ささき歯科医院・じんだい調剤薬局
---------	--

【外部評価で確認された事業所の特徴】

民家を改築した家庭的な造りが特徴で、「自分らしく心豊かに暮らす」との理念に基づき、利用者一人ひとりの思いに応えようと支え合いながらケアにあたっている。そのため、前回調査時に食事の全介助だった方が、ゆっくりと時間をかけながら利用者に寄り添ったケアに努めたことで、自力で食事ができるまでに回復するなど、利用者を理解し支え合いながらケアしていることが結果として表れている。また、地域に対して「たより」を発行して積極的に情報を発信し、近隣住民の協力を得ながら避難訓練を実施するなど、地域密着型の事業所として地域と連携しながら前向きに取り組んでいる。今後は、さらに理解と協力を得られるよう地域の一員として交流を深め、事業所の機能を存分に生かした取り組みを工夫しながら、地域と一体となって利用者を支える実践や仕組みづくりを期待したい。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)	運営推進会議への家族の参画やヒヤリハット記録の整備、法人内の連携による外出支援の充実など、前回評価結果を受けて効率的な事業所運営と質の高いサービス提供につなげている。
	今回の自己評価に対する取組状況(関連項目:外部4)	管理者と計画作成担当者が職員の意見を聞きながら自己評価しているが、今後は、職員一人ひとりが自己評価し、職員の意識や理解を深めながら具体的な改善策を明らかにするなど、事業所全体で取り組むことを期待したい。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組(関連項目:外部4, 5, 6)	運営推進会議に利用者家族の参画を積極的に呼びかけ、新たに「夕涼み会」を企画するなど、効果的な事業所運営に生かしている。今後は、評価結果を報告して課題等を共有し、建設的な意見や提言を引き出しながらサービス向上に向けた取組につなげてほしい。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)	利用者一人ひとりの生活状況を家族に知らせ、毎月の家族訪問時には直接意向を確認するなど、相談や要望からサービスの向上に努めている。今後は、不安への対応方法や家族の潜在的な思いを引き出すため、組織全体で意見交換しながら具体的な取組につなげてほしい。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)	町内会に加入して地域行事や清掃作業に参加しており、事業所の敬老会には地域の方々を招くなど、地域との交流を積極的に深めている。今後は、事業所の機能を生かした「認知症講座」や「口腔ケア」勉強会の開催や、町内単位での災害支援体制の整備など、地域との連携について可能性を模索しながら具体的な取組につなげてほしい。

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営								
1. 理念と共有								
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	入居者一人ひとりが地域の中で「自分らしく心豊かに暮らす」という理念を掲げている。			「自分らしく心豊かに暮らす」を理念に掲げ、地域住民との関わりを大切にしながら、利用者一人ひとりの思いを実現するよう努めている。	○	地域の中で自分らしく暮らすことを理念としていることから、地域との関わり方を理念に盛り込み、職員間で検討しながら地域密着型サービスとしての理念を再構築してほしい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関、廊下、ホール等に掲示し常に意識できるようにしている。			玄関や廊下、ホール等に理念を掲示しており、申し送りや職員会議などでも職員が理念を意識しながら話し合い、日々の支援につなげている。		
	3	○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	家族には契約時に詳しく説明し、地域の方にも運営推進会議を通して理解を求めている。					
2. 地域との支えあい								
	4	○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	ホーム周辺の散歩や畑作業等を通して気軽に立ち寄ってもらい顔なじみのご近所付き合いができています。また、季節の旬の野菜や果物を頂き入居者の生活への協力も頂いている。					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の清掃作業への誘いの声を掛けてもらい、参加できる入居者は参加している。運営推進会議では、地域代表の方にホームでの暮らしぶり、様子を報告している。	○	地域の行事、会合等への参加のため積極的に情報収集に取り組み広い範囲で交流できる時間の確保に努めていきたい。	近隣農家の方から畑づくりや花壇の手入れについて指導してもらうほか、地域の清掃活動などにも参加して交流を深めている。また、敬老会に地域の方々を招待し、地元高校生ボランティアによる太鼓の演奏を楽しんでもらうなど、前回よりも交流の機会が増えている。	○	今後は、地域に出向いて交流する機会を増やし、全戸配布している「ホームだより」に写真を入れて見やすくするなど、地域から親しまれるよう工夫しながら更なる交流に努めてほしい。
	6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	入居者が気分転換できる時間も含め、地域の方との交流会の企画を話し合い検討している。その際には認知症に関する様々な情報発信が出来るよう取り組みたい。また、高校生のボランティアの受け入れを行っている。	○	お知らせの配布等を入居者と一緒に行い、地域に開かれ貢献できるホーム作りに取り組みたい。また、同年代の地域の高齢者の方との関係作りも働きかけていきたい。			
3. 理念を実践するための制度の理解と活用								
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価を通して、サービスの見直しや振り返りに活用できるようにしている。			職員が評価の目的や意義を理解しているため、管理者は職員の意見を聞きながら自己評価している。また、外出支援や運営推進会議の充実など、前回評価結果を受けて改善につなげている。	○	職員一人ひとりが自己評価することでケアサービスを自己点検し、そこから気づいた課題や具体的な改善策を共有しながら、事業所全体で実践につなげてほしい。
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者状況、ホームでの暮らしぶりを報告し、入居者、家族からも普段の生活やサービスに対する意見や要望を話してもらっている。			前回調査で課題としていた利用者家族の参画を図り、今夏に「夕涼み会」を企画するなど行事等についても活発な意見や提案があり、効果的な事業所運営やサービス向上につなげている。		

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	必要に応じて電話をしたり、訪問して連絡を取れるようにして協力を得るようにしている。			運営推進会議に行政担当者が参画し、昨年度まで地域包括支援センター職員が参画していたこともあり、利用者やケアに関して必要に応じて連絡しながら対応している。	○	事業所からの積極的な情報提供のほか、ケア会議等への事業所の参加を働きかけ、情報を共有しながら運営やサービスの向上につなげてほしい。
	10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	制度の詳しい内容の理解は不十分と思われる。	○	制度についての情報の収集や学ぶ機会を作るようにしていきたい。			
	11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	スタッフミーティング時に研修での資料を基に職員が虐待に関して学び、考え意識できるようにしている。また、社会問題にも耳を傾け情報を得るように努めている。					
4. 理念を実践するための体制								
	12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時にホームの概要、対応等を書面と口頭で十分に説明し理解と納得を頂くように努めている。					
	13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	率直な意見、不満等を伝えられる雰囲気作り、体制を整え対応している。話が聞かれた場合はミーティング、申し送りで話し合い、検討している。					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時や電話があった時は状況やホームでの暮らしぶりを報告している。また、請求書の発送時には毎月のご様子のお便りや写真を同封し送付している。			利用者一人ひとりの生活状況を記載した「桐花荘だより」を毎月送付し、写真なども添えて暮らしぶりを知らせている。 また、毎月の利用料支払い時には家族が訪問するため、その際にも話し合い情報提供に努めている。	○	地域向け「たより」の見やすい工夫と併せて、事業所全体の行事案内や連絡事項も盛り込み、家族に対しても定期的に情報提供することを期待したい。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関にご意見箱を設置したり、面会時を通して率直な意見が聞けるよう心がけている。			玄関に意見箱を設置しているほか、毎月の家族訪問時に直接意向を確認しており、意見や要望からサービスの向上につなげるよう努めている。	○	運営推進会議で家族の意見を集約したり、独自で意向調査を行うなどして潜在的な思いを把握するよう働きかけ、事業所運営及びケアに反映させてほしい。
	16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月スタッフミーティング時に利用者状況、サービス等の話し合いの他、意見を出し合う機会もある。また、管理者は月初めの本部の会議に出席しホームの状況報告をしている。					
	17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	事前に調整が必要な場合は話し合いをし対応体制をとっている。また、緊急時の連絡体制を整えている。					

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の離職時や異動時は、不安を招かないよう配慮し説明をしている。			職員の異動や離職時には利用者及び家族に理由を説明し、時間をかけて引き継ぎするなど不安を招かないよう配慮している。 また、系列事業所との行き来が頻繁にあり、利用者や職員が顔なじみの関係にあるため、利用者の混乱防止になっている。		
5. 人材の育成と支援								
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修の機会には、研修の種別や年数等を考慮しながら参加できる体制を整え1人1人が学ぶ時間を保てるようにしている。			研修参加予定表を作成しており、全職員が研修に参加できるよう促し、質の向上に努めている。 また、法人内研修の機会も確保しており、職員間で資格取得に向けて情報交換するなど意欲的である。	○	より計画的に研鑽を重ね、段階的にスキルアップできるよう具体的な研修計画を作成し、さらに職員の目標や評価なども明確にしながら研修機会の充実に努めてほしい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	主にグループホーム連絡会を通して、会主催の研修会等に参加するなどして交流する機会を持つようにしている。			毎月の連絡協議会に管理者が参加し、他事業所との情報交換とネットワークづくりに努めている。 また、法人内の職員交流や意見交換の場を設けて課題や情報を共有している。	○	連絡協議会を通じて具体的な取り組みに関する情報収集に努めるとともに、他事業所との相互の職員訪問などで積極的に交流し、今後の取り組みに生かせるよう期待したい。
	21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	会社全体の旅行や忘年会等を企画し参加できるようにしている。また、シフト作成時は休みの希望を聞き出来るだけ希望に沿うように配慮している。					
	22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	勤務状況等を把握し、研修受講や資格取得の促しを行い向上心の持続に努めている。					
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援								
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応								
	23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面談時に状況、情報収集を図り対応できるように努めている。					
	24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面談時に状況、情報収集を図り対応できるように努めている。					
	25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族の意向を聞きながら他のサービスの情報収集、相談、紹介等に努めている。					

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価			
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している	入居を決定する前に本人、家族に見学をして頂き雰囲気や環境を感じてもらえるよう伝えている。				本人及び家族が事業所を見学して事業所の雰囲気に触れてもらい、職員が自宅訪問して関わりを持つなど、徐々に環境に慣れてもらえるよう努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援									
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	昔の経験、暮らしぶりの会話の中で色々教えてもらい、季節の行事や調理等に取り入れ家庭的な雰囲気の中で行っている。				笹餅やおやつづくり、畑づくりなど職員が利用者との関わりから学ぶことが多く、利用者に対する理解を深めながら信頼関係の構築に努めている。		
	28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	本人の状況の報告時や面会時に要望や希望を伺い一緒に考えるように努めているが、もう少し工夫をしていきたい。	○	ホーム側からの働きかけを工夫しながら支え合う関係作りに努めたい。				
	29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	お互いからの関わりのお話を聞きながら対応している。また、家族との外出時等には状況を伝えている。						
	30	○馴染みの人や場所との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族に相談しながら関係が途切れない支援に努めたい。	○	馴染みの場所や友人との交流を家族の協力も得ながら機会を設けていきたい。				
	31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	相性や関係の把握に努め座席の工夫をしたり、トラブルの防止のためリーダー的な存在の方には様子を見守り、状況に応じて声掛けをしている。						
	32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	必要な方とは関わりを継続に努めている。						
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント									
1. 一人ひとりの把握									
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人、家族の希望や意見を聞きながら意向の把握に努め、その都度相談を重ねている。				利用者及び家族との面談で希望や嗜好などの意向を確認し、課題分析も行っているため、様々な場面で声かけしながら利用者の意向を感じ取り、受け入れるよう努めている。		

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
	34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、生きがい、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居者一人ひとりの生活歴の情報を職員が把握し、会話を通じて新たな情報の把握にも努めている。					
	35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	入居者の目の届く所で見守ったり、声掛けしながら生活の様子を把握をしている。また、行動や食事量、排泄パターン等を記録し申し送り職員が把握できるように努めている。					
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し								
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者の日常生活を把握し会話を通して希望を取り入れたり、認知症の進行が著しい方については家族へ状況説明し希望や今後の支援について要望等を聞いている。また、定期的に職員全員出席でケアカンファレンスを行いモニタリングを通して話し合いを行い作成している。	○	モニタリング方法の工夫を考えていきたい。		計画作成担当者が利用者及び家族、担当者等から情報を収集し、職員間で検討・共有しながら介護計画を作成している。	
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な見直しを行うと共に、状態の変化、必要に応じて見直しと変更を行っている。				毎月モニタリングを行っており、3か月のほか利用者の状況変化に応じて職員間で検討しながら計画を見直している。	○ 利用者の記録を重複して保管しているため、ケアの一連の流れを一目で理解できるよう記録を整理するなど、業務効率化に向けて工夫することを期待したい。
	38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	一人ひとりの1日の状況を昼夜色別にして記録をしている。また、身体チェック表や申し送り記録をファイルし状況の継続的な把握に努めている。また、職員の連絡帳も活用し職員全員が把握できる体制をとっている。					
3. 多機能性を活かした柔軟な支援								
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	系列事業所との連携を図り相談、検討し支援している。	○	民生委員の方が運営推進会議に出席して下さるので状況に応じて積極的に相談、働きかけを行いたい。		家族に代わっての通院介助や系列事業所の車輛を活用しての外出支援など、利用者及び家族の要望に応えるよう柔軟に対応している。	○ 今後は、職員の資格等を生かした「認知症講座」や「口腔ケア」等の教室の開催など、事業所の機能を最大限に生かした取り組みに期待したい。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働								
	40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関、医療機関等と協力しながら支援している	運営推進会議、認知症サポーター養成講座を通して意見交換を行っている。また、避難訓練等で協力を得ている。	○	地元の諸機関との協力体制を確認、見直ししながら更なる連携を図りたい。			
	41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	研修や会議に参加する機会に意見交換や情報収集を行っている。					

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
	42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	以前、運営推進会議の行政担当として参加をして頂いたこともあるため、必要に応じて協力は得られている。	○	入居者、家族の意向や相談内容に応じてセンターを積極的に活用していきたい。			
18	43	○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所との関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用契約時にかかりつけ医について説明し理解を得て受診の体制を整えている。また、個々の状態や家族の希望に沿う医療機関を受診している方もいる。入居者の状態報告を行い指示やアドバイスを頂いている。			利用者のかかりつけ医への受診を継続しているほか、協力医への受診も可能であり、適切に医療が受けられるよう配慮している。		
	44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	かかりつけ医に詳しい状況、状態報告を行い専門医療機関への受診の対応を整えて頂いている。					
	45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	受診時に相談をする機会が多い。					
	46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	医療機関、家族と話をする機会を調整しながら状態の把握に努めている。					
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	契約時や家族への状況報告時に、今後の状態変化に応じてのホーム側の対応や支援を説明はしているが繰り返しとまでは至っていない。重度化になった場合を想定し他施設申込みをしている入居者もいる。	○	かかりつけ医の意見や職員間の話し合い等を踏まえて、今後も相談や検討を行っていききたい。	希望があれば看取りたいとの考えはあるが、現時点では重度化及び看取りに関する対応については明確にしていない。	○	利用者の状態変化も想定されるため、医療機関との連携や利用者及び家族の意思確認など、法人とも相談しながら看取りの体制を検討し、事業所としての方針を明確にしてほしい。
	48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	かかりつけ医への受診、状態報告で状況に応じてアドバイスは頂いているが、職員間で時間を作り検討するところまでには至っていない。	○	ミーティングやカンファレンス時に重度化に対する支援、方針を検討する機会を設け取り組みに繋げていきたい。			
	49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、本人及び家族に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人、家族と主に話し合いを重ね不安の軽減、解消に努めている。本人に関わりのある方からの情報も参考にしダメージを最小限にとどめるよう努めている。					

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価			
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援									
1. その人らしい暮らしの支援									
(1) 一人ひとりの尊重									
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	入居者の気持ちに寄り添い場面場面に応じた声掛けに配慮している。記録等の個人情報は事務所の書庫に見えないように保管している。				トイレがわからなくなった方をさり気なく誘導するなど、食事や排泄介助などには他利用者にも気を配り、利用者の尊厳を大切にしている。また、個人情報の取り扱いについては家族からの同意書のほか職員からも誓約書を取り、記録等についてはキャビネットに保管するなど徹底している。	○	前回調査で課題としたトイレについて、場所によってカーテンの仕切り方が異なり、廊下からの入口もカーテンであるため、音や臭いなど気にならないよう利用者の立場にたち、プライバシーの観点からも改善することを期待したい。
	51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を「尊厳の保持」に配慮して行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人なりの表現で本人の思いの伝達、自己決定ができるように声掛けや説明、周囲の雰囲気作りに配慮している。						
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の生活ペースに合わせて過ごすことができるように努めている。入居者間の交流場面を見守りしながら声掛けのタイミングに配慮している。				時間をかけて対応することを心がけており、入浴回数や時間帯、畑仕事、食事の手伝いなど利用者のペースに合わせて支援している。その結果、食事の全介助だった方が、現在はゆっくりでも自力で食事を摂れるようになるなど、利用者の機能回復や維持につなげている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援									
	53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人の希望や好みを最優先し、整容の乱れ等はさりげなく声掛けや介助をしている。定期的に理容店の出張がありカット、顔そり、毛染め等希望に合わせて行っている。	○	馴染みの店や行きたい店を利用したい方は家族と相談しながら対応できるように検討していきたい。				
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	一人ひとりのできる力に応じて一緒に調理したり、盛り付け、片付け等を分担しながら行っている。				利用者が育てた野菜を収穫し、彩りに配慮しながら調理しているほか、ご飯茶碗や湯飲みもそれぞれに持参して使用するなど、食事を楽めるように工夫している。また、職員と利用者が一緒に準備したり、回転寿司に出かけたりと食事に対する関心と意欲を引き出している。		
	55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	体調面の把握をして楽しめるように配慮している。お酒やたばこの要望は聞かれていないため、今現在は提供していない。						
	56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるように「尊厳の保持」に配慮して支援している	排泄パターンの把握をして、さりげない声掛けや誘導に気を配っている。また、失禁後の交換時は気持ちとプライバシーに十分配慮して介助を行っている。						

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望に沿うように配慮しているが、体調によって控えた方がよい日等には声掛けの工夫をしながら対応している。自分だけの楽しみな時間、リラックスできる時間となるように努めている。			入浴日や時間帯は決まっているが、利用者の希望に応じて回数などに配慮し、同性介助についても利用者の意思を確認しながら入浴を楽しめるよう支援している。		
	58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	生活ペースの中で適度な休息の促しや、夜間の安眠に繋がる適度な疲労感を感じられるように努めている。かかりつけ医や医療機関に睡眠状態の変化が見られてきた場合は報告している。					
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援								
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴を土台に得意な分野で、台所仕事や洗濯物を干したりたたんだり、草むしり等と一緒にしたり自発的に行ったりしている。			利用者及び家族からの情報を元に、台所仕事や畑仕事、洗濯たたみなど利用者ができる範囲で関わるよう努めている。 また、余暇の時間には歌をうたったり、折り紙を作って飾るなど皆で和やかに過ごしている。		
	60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居者、家族の了解を得てホーム側での立て替え形式を原則としているが、一部の入居者で手持ちのお金を利用されている方に関しては職員と一緒に管理している。					
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホーム周辺の散歩や草むしり等の声掛けをしている。玄関前にベンチを置き自由に外気に触れられるようにしている。			前回調査で不十分と捉えていた外出について、系列事業所の車両を調整しながら有効活用し、買い物や花見、ドライブなど積極的な外出支援につなげたことで利用者も喜んでいる。		
	62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	入居者と話をしたり情報収集しながら季節に合わせて見学地へ出かけているが、家族と共にとまでは至っていない。	○	スーパーへの買い物へ職員と出かけることもあるが一部の方に限られている。家族と相談をしながら機会を作るよう努めたい。			
	63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	手紙や電話を自由にやりとりできるようにしている。電話はプライバシーに配慮し、応対が困難な方には仲介をしている。					
	64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会、訪問時にはゆっくりと過ごせるように配慮している。	○	友人、知人の訪問が数少ないが、家族と協力しながら工夫していきたい。			
(4) 安心と安全を支える支援								
	65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	理解、意識しケアに取り組んでいる。	○				

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	夜間以外は施錠せず、開放し見守りをしている。			日中は玄関に鍵をかけず、職員が見守りや声かけしながら利用者の自由な生活を支援しており、外出を望む場合でも職員が付き添い行動している。	○	隣接している民家のほか、少し離れた住民からも声かけしてもらおうなど、町内全体での見守りを働きかけてほしい。
	67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	入居者と一緒に過ごし様子を見守りしたり、さりげなさに配慮し訪室したりしながら確認している。					
	68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	薬は保管場所が決まっており施錠して管理している。刃物や洗剤等は入居者の目の届かない場所で保管している。また、職員のロッカールームも活用し注意をしている。					
	69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	一人ひとりの状況を把握し、予測しがたい行動に対する意識を持ち事故防止の話し合いに努めている。					
	70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の実践訓練を定期的に行っている	救急救命講習を通して初期の対応に備えている。					
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	隣の家の方の協力も頂き、日中、夜間を想定し訓練をしている。			近隣住民の協力のもと夜間を想定した避難訓練を実施しており、訓練の結果からスロープの追加設置が課題として検討されるなど、災害対策の充実に向けて取り組んでいる。	○	近隣住民のほか、地域全体で災害時の安否確認や支援体制を確立するため、理解と協力を得ながら仕組みづくりを検討してほしい。
	72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	今現在の状態報告をしながら今後に関しても説明、相談をしている。					
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援								
	73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	1日の身体チェック表や介護日誌、申し送りで確認の徹底を図り共有するようにしている。					

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価			
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
	74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解に努めており、医療関係者の活用や服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬についての説明書を各個人のファイルにとじ確認している。また、受診記録に医師や看護師からの注意点等を確実に記入するようにしている。						
	75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食事量や水分摂取の確認をし、飲食物の工夫を状況に応じて行っている。						
	76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、声掛けや誘導、確認を行っている。また、義歯洗浄の介助が必要な方には介助をし清潔保持に努めている。						
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの摂取量や嗜好を把握しバランスのとれた食事になるよう配慮している。				食事や水分摂取量を毎食記録し、利用者一人ひとりの状況把握に努めており、一緒にお茶を飲みながら体調観察も行っている。	○	法人内の系列事業所に栄養士がいるため、カロリー計算や栄養摂取量を含め専門的なチェックと指導を定期的に受けるなど、栄養バランスに偏りがないよう工夫してほしい。
	78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	感染症に対するマニュアルを作成している。インフルエンザの予防接種も行い、手洗い、うがいの徹底とハイター消毒を行っている。						
	79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	衛生管理表に確認している。また、食品に関しては賞味、消費期限を守り新鮮な食材の使用を徹底している。						
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり									
(1) 居心地のよい環境づくり									
	80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関周囲にはプランターや鉢植え、畑で野菜や花を育て季節感と家庭的な雰囲気を大事にしている。玄関にはスロープを設置している。						
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	台所は開放され調理の匂いや音の空気が流れやすいようにしている。換気は1日の流れの中で気候や気温に合わせて行い、ブラインドやカーテンで日差しの調整等で対応している。				民家を改築した間取りが家庭的な雰囲気を残しており、廊下や居間には季節の花を生けるなど家庭に近い環境づくりに努めている。 また、自然が多くとても静かで、ソファや畳などくつろげるスペースも確保し、調理の匂いが自然に流れるなど、生活感あふれる空間づくりを工夫している。		

外部評価	自己評価	項目	自己評価			外部評価		
			取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールには椅子やソファ、和室の開放等で思い思いに過ごすことができるようにしている。					
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	相談しながら、馴染みの生活用品や好みの物を使用している。状態に応じて随時相談を重ねている。			利用者の馴染みの物や写真などを飾り、明かりの少ない居室には新たに窓を取り付けるなど、居心地良い生活空間づくりに配慮している。		
	84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	1日の流れの中で気候や気温に合わせて換気や温度調節を随時行っている。					
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり								
	85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している	玄関にはスロープ、廊下、トイレ、浴室等には手すりを設置して浴槽には滑り止めマットを敷き転倒防止に努めている。また、居室は段差がなく2枚の引き戸にしているため出入りしやすいように工夫している。					
	86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	入居者の目線に合わせた位置に目印を付いたり、確認できるよう配慮している。					
	87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ホーム前の畑を利用し季節の野菜や花を育て、草むしり等の作業や活動ができるよう整備している。					

※ は、重点項目。

項目		自己評価	
		取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	
V. サービスの成果に関する項目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

ホーム周辺が田畑に囲まれ、安全に季節感を感じながら散歩等を楽しむことができる環境が整っている。
 また、ホームの畑での野菜や花の育成の他、入居者が馴染んできたことを大事にして一緒に行い、喜んだり、楽しんだり、悩んだりして時間の共有を大切にしたい支援を心がけている。